



# 帯状疱疹

宮崎県では、たん、はしりたん、おびたん、きびがさなどといわれています。からだを一周すると死ぬという迷信がありますが、決してそんなことはありません。この病気は水痘(みずぼうそう)にかかった人にウイルスが残っていて、体調の低下で発症します。痛みをとめない、体の片側に帯状に出てくる小さな水ぶくれが特徴です。治療が遅れると痛みが残りやすいので皮膚科専門医に早目にご相談ください。

## 典型例

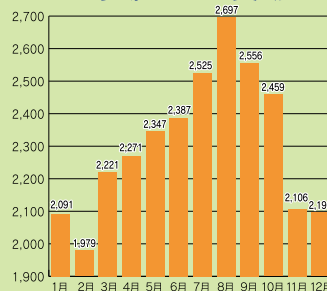


知覚神経の分布図

(知覚神経の分布に沿ってどこにでも起こります)

## 季節による変動

総数:27,735例  
(1997~2002年)

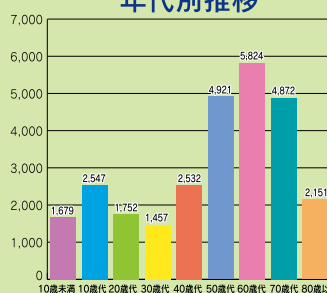


夏に多く、2月がもっとも少ない



子どもにもみられます

## 年代別推移



(宮崎県皮膚科医会 外山 望 集計)

### ◎ 汎発性帯状疱疹



ひどくなるとみずぼうそう様になります

### ◎ 神経麻痺



耳の帯状疱疹

### ◎ 眼合併症



角膜潰瘍

### ◎ 激しい痛み



神経痛

重症例



水痘



右顔面神経麻痺



フルオレスチン染色

目の合併症を起こすことがあります

## 带状疱疹の5カ条

1. 早目に適切な診断と治療を受けましょう
2. 錆びた包丁を使うなどの民間療法はやめましょう
3. 冷やすのはいけません。温めましょう
4. みずぼうそうとして、子どもにうつすことがあります。気をつけましょう
5. 皮膚が治ってもまれに痛みだけ続くことがあります(带状疱疹後神経痛)。根気よく治療しましょう

いいひふ  
11月12日は皮膚の日です